「大島海洋体験施設」を中心とした漁業と観光が連携したスモールビジネス創出による大島振興事業

福岡県宗像市

概　　要

◆事業実施の背景
　基幹産業である漁業の衰退などの諸課題の解決に向け、平成23年度春に開業予定の「大島海洋体験施設」を核とした、地元産の魚の有効活用による新たな雇用・産業の創出を図り、様々な産業が連携する新しいスモールビジネス創出による島全体の振興・活性化を目指す必要性がある。このことから、同施設を核とした事業運営のための先進地調査や実際に活魚を投入し、試釣等社会実験を実施するとともにホームページ等により情報発信を行った。

事業の成果

・釣堀の社会実験、情報発信システム構築、体験プログラム構築等多岐にわたる総合的取組により、主に釣堀施設を使用した社会実験を通して、大島海洋体験施設での魚種の選定や魚の取り扱い方法、サービス実施、施設運営での重要な知見を得ることができた。
・情報発信を行うホームページの開設により、インターネット予約システムを整備し、事業実施環境の整備が大きく進展した。
・本事業全体を通じ、海洋体験、釣り、磯観察等の知識経験者を交えた地元との懇談・検討により、ノウハウの取得とともに人材の育成につながった。
・マーケティング調査により、大幅な入込み客数の増加が見込まれ、新たな雇用が生まれ、魚や海などの大島の素材を活かしたプログラム実施により、漁業と観光が連携した地域の活性化の取組として、その道筋をつけることができた。

事業の内容

①「大島海洋体験施設」を核にしたスモールビジネス創出に関する調査
マーケティング調査の結果、釣堀施設38千人、防波堤釣り41千人、海洋体験103千人の利用希望があった。

②「大島海洋体験施設」事業運営のための先進地調査
・養殖業者、釣堀各2社の視察調査
・釣堀で使用する魚種の選定及び試算、総合的施設運営を学んだ。

③ 施設オープンを想定した実証実験（モデル事業）の実施
・専門家による社会実験を実施
・評価意見交換会を実施

④「大島海洋体験施設」事業実施計画の策定
・釣り、シーカヤック、磯観察、釣り施設運営などの専門知識を有するアドバイザー招聘による事業計画作成

⑤ 事業実施に必要な備品等の整備・購入
・社会実験実施のため不可欠な倉庫付筏イケス施設及び活魚補給用及び釣堀実験用のイケスの製作
・機材や活魚運搬のための軽車両の備品等の整備購入

⑥ 情報発信・PR強化
・施設のPR・情報発信のため愛称決定やロゴマークを作成し商標登録を行った。
・施設の利便性向上やPR促進のため、インターネットを活用したシステムを開発
・パンフレット・リーフレットを作成・配布

平成23年4月29日に開業の大島海洋体験施設ホームページ

釣堀の社会実験の様子

施設愛称及びロゴマーク